

2016年11月1日

国立研究開発法人科学技術振興機構

Ver2.2

資料 8

J-STAGE 公開済み記事データの修正

1. はじめに

J-STAGE の公開済み記事データ（書誌事項、本文 PDF）を修正する場合の基準は、J-STAGE 推奨基準「記事データの訂正・修正等について」に掲載の通りです。

本資料では、J-STAGE 推奨基準に準拠した公開済み記事データ（書誌事項、本文 PDF）の修正方法について説明します。

2. 公開済み記事データの修正方法

公開済み記事データの修正方法は、修正箇所によって以下の 2 通りがあります。

(1) 本文 PDF の記載内容の誤りを修正する場合

学術雑誌の本文 PDF の記載内容の誤りは、訂正記事（以下、エラータと記載する）を発行して訂正します。J-STAGE ではエラータを公開後、誤りのある記事とエラータを相互にリンクできる記事リンクを設定します。

(2) 抄録画面に掲載されている記事データの誤りを修正する場合

J-STAGE の抄録画面等に掲載されている書誌データに編集上のオペレーションミス等による誤りがある場合は、J-STAGE に公開済みの記事データを修正します。

下表を参照して、修正箇所に対応した記事データ修正を行ってください。

| No. | 誤りがある箇所 | 修正・申請手順 | 参照ページ |
|-----|-------------------|------------------|-------|
| 1 | 本文 PDF の記載内容 | エラータによる公開済み記事の訂正 | P2 |
| 2 | 抄録画面に掲載されている書誌データ | 公開済み記事データの修正 | P3 |

3. エラータによる公開済み記事の訂正

概要

本文 PDF に誤りがある場合は、エラータとして訂正記事を公開します。このエラータと誤りのある記事を相互にリンクする記事リンクを設定することで、記事に誤りがあり、訂正されたことがわかるようにします。

この記事リンク設定は、エラータとして J-STAGE で公開されている必要があります。発行機関様でエラータを公開した後に、編集掲載システムにて記事リンク設定します。

エラータが必要となる誤りの詳しい内容については、J-STAGE 推奨基準をご確認ください。



図 3-1 エラータとの記事リンクイメージ

設定方法

誤りがある元の記事とエラータとの記事リンクの設定は、編集掲載システムの記事リンク設定画面から「記事リンク設定」を行ってください。

※記事リンク設定方法はマニュアル「J-STAGE 操作マニュアル 編集掲載編/13. 記事リンク設定」をご覧ください。

4. 公開済み記事データの修正

概要

本文 PDF には誤りはなく、J-STAGE の HTML 公開用データ（タイトル、抄録、引用文献等）に編集上のオペレーション誤りがある場合は、J-STAGE 公開済データを修正し、修正があったという履歴（訂正履歴）を残します。

<訂正後 書誌事項画面>



図 4-1 訂正履歴のイメージ

修正方法

記事の修正は、編集登載システムの記事管理画面から「記事訂正」を行ってください。

※訂正記事作成方法はマニュアル「J-STAGE 操作マニュアル 編集登載編/14. 記事訂正」をご覧ください。

5. J-STAGE 推奨基準「記事データの訂正・修正等について」

J-STAGE 推奨基準「記事データの訂正・修正等について」は、下記 URL の「編集基準」に掲載しております。

https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/004_jp_menu_.html